

平成21年度 奈良県防災功労者知事表彰 一活動事例集一



奈良県安全・安心まちづくり推進課



～大安寺西地区自主防災活動概要と実績について～

1、地域の特性

大安寺西地区自治連合会は昭和 57 年に結成され、その後「安全で安心して暮らせるまちづくり」の推進を目的に、大安寺西地区自主防災防犯会が平成 19 年 5 月 20 日に設立されました。現在、大安寺西地区自主防災防犯会は大安寺西地区自治連合会内の 21 自治会により構成しています。

2、活動内容

○消火・消火器啓発活動

毎年 8 月第 4 土曜日に開催する夏祭り(4,500 名参加)の一環として行う消火器使用普及啓発活動では、子どもが消火器の操作に慣れる狙いで、水消火器による訓練を実施しております。また防災防犯総合訓練では、消火器による消火及びビニール袋による水の搬送、消防団による放水訓練も実施しています。

○防災啓発資料配布

平成 19 年度は、自治会単位で防災マップを作成し各自治会に全戸配布しました。また避難場所啓発看板を 2 か所設置しました。また平成 21 年度は家具転倒防止金具の取り付け等に関する防災啓発資料を全戸配布しました。

○救助・救出訓練

平成 20 年 11 月に奈良市消防局で行われた「救助・救出リーダー研修」に救助・救出班全員が研修を受けました。その時の研修で習った毛布と竹竿で担架を作り、防災訓練で簡易担架を発表し、4 人で搬送する訓練を実施いたしました。

○炊出し訓練

平成 21 年 3 月の防災防犯総合訓練には、550 人分のおにぎり(日赤の米飯用袋使用)と豚汁を炊出しました。平成 21 年 11 月 3 日の佐保川清掃では、500 人分のカレーライスの炊出し訓練を実施しました。また、毎年恒例の 12 月の餅つき大会(600 名参加)では、ぜんざいの炊出し訓練を実施しました。

○応急手当講習会

毎年 11 月に突然のケガ・病気におそわれても、救急車が到着するまでの間に、家族や職場等でできる応急手当の講習会を開催しております。講習内容は、成人に対する心肺蘇生法、AED の使用方法、気道異物の除去等で、中学生以上の方に毎年 50 名程受講して頂き、修了時には、消防局より修了証が交付されています。

○住宅用火災警報器幹旋配布

火災警報器を自治連合会で一括購入するため、各自治会長に地元の業者を推薦してもらい、公開で入札することになりました。5社が参加した入札により1社に決定し、1台当たりの単価2,230円で1,535台を一括購入しました。またお年寄りの世帯で取り付けご希望の方は、サービスで取り付けをお願いしました。

○防災防犯総合訓練

大安寺西地区総合防災訓練は、毎年3月の第4日曜日と決まっております。今年は3月28日(日)であります。今年より各班の班長を企画担当者として実行本部を設立し、本部長の下に実行委員長を選任して訓練の企画進行を行う事にしました。平成20年度の訓練参加者は、540名でした。毎年参加人数を増やして行きたいと思っております。

3、セールスポイント

防災士受講の派遣をすすめていて、現在13名の防災士が誕生しており、今年度も若手の方を含め5名の方が受講しております。また来年度は、女性の方にも受講していただきたくお願いしております。

また年1回開催されている防災防犯総合訓練以外にも、救助・救出訓練、炊出し訓練、応急手当講習会等を個別に開催し、そういった組織での盛んな活動により、活動地域のコミュニティの活性化を図り、「自助・共助」による災害や防犯に強い組織作りに努力しております。

4、今後の課題

単位自治会の会長が毎年変わるので、地域防災力の向上について難しい面があります。また災害時要援護者に対する支援体制の整備を今後さらに進めていく必要があります。いま大安寺西地区は、高齢化が進み高齢者の1人暮らしの方々が年々増えてきております。自主防災会の若返りも図りますが若い会員に限度があります。これは、理想で難しい話ですが、中学生に協力してもらいボランティア教育の一環として我々と一緒に災害時要援護者に対する支援体制が出来ないかと考えております。

活動風景（大安寺西地区自主防災防犯会）NO. 1



避難訓練



炊出し訓練

活動風景（大安寺西地区自主防災防犯会）NO. 2



放水訓練



SOSの人文字

甘田町自治会自主防災会(大和高田市)

(1) 設立年月日

平成17年12月10日

(2) 所在地

大和高田市甘田町2番14号 (甘田町集会所)

(3) 規模・構成

甘田町自治会 320 世帯 970 人

(4) 予算

460,000円(平成21年度予算)

(5) 活動内容

平成17年12月に結成以来、毎年2回の定期的な地区防災訓練を行い、本年度は、消防職員の指導のもと救命救急講習会(AED講習等)を開催いたしました。

また、平成18年2月には、集会所の隣に甘田町防災倉庫を新築し、毎年、防災資機材を購入に、防災力の向上並びに防災資機材の整備に努めており、平成21年度は、自治会内の38ヶ所に消火器格納箱を設置し、74本の消火器を購入、初期消火の強化を重点に整備いたしました。

(6) 甘田町自主防災図

この自主防災図は、住民が日頃から避難場所や避難路の確認、及び消火栓位置等を把握し、地震や火災発生時に住民がすばやく対応できるように、公民館前、公民館の中、自治会内の数カ所に設置している。



(7) 普通救命講習等の実施

平成21年6月14日の日曜日に甘田町公民館で、普通救命講習並びにAEDの使用方法について高田消防署の救急救命士を講師に招いて実施され、自治会役員や多数の住民の方が受講しました。



甘田町自治会自主防災会(大和高田市)

(7) 普通救命講習並びにAEDの使用方法について自主防災会員が講習を受けた。



(8) 県・市主催の防災講演会・防災研修会等に積極的に参加

毎年、奈良県並びに市が主催の防災講演会、防災研修会並びに防災リーダー研修等に積極的に参加し、数名が防災士の資格を取得するなど、自治会の防災力の向上に努めています。

(9) 自主防災会業務分担表

(10) 甘田町内一時避難場所

(11) 甘田町事業計画



(平成21年9月2日 自主防災・防犯講演会に福島会長 他数名が参加)